



鳥井 康子 議員



動画配信中

高齢者福祉の充実を！

問 本市における公共交通サービスの人口カバー率は約80%とのことであるが、高齢者の移動可能な距離等を踏まえた生活路線バスでの人口カバー率について、調査は行っているのか。

生活環境部長 人口カバー率の数値については、栃木県生活交通対策協議会が取りまとめた「とちぎの公共交通」によるデータのみであり、鉄道とバスを含んだものとなっている。生活路線バスの人口カバー率について、本市独自の調査は行っていない。

◆設備改修の見通し

問 南幸楽荘では入浴施設が使えない状況であるが、利用者への影響と今後の改修の計画を聞きたい。

健康福祉部長 入浴施設利用中止の代替措置として、東幸楽荘へのタクシー送迎を週2回実施している。改修には多額の費用が見込まれる上、公共施設について将来のあり方を総合的に考える時期であるため、本市公共施設等総合管理計画で定める基本方針に基づき、南幸楽荘のあり方についても検討していく。



尾関 栄子 議員



動画配信中

通学路の危険ブロック塀の耐震強化を急げ！

問 本市の通学路の危険ブロック塀は65カ所あることが明らかになった。国・県の補助制度もあることから、本市もこれを活用し、自治体独自の助成制度をつくるべきではないか。

都市建設部長 私有財産であるブロック塀は基本的には所有者に適切に管理いただくものと考えている。国等が補助金を設けた経緯もあるが、全てが対象となるものではなく、その把握も課題となってくることから、国・県の動向や近隣市の状況を引き続き調査研究していく。

◆迫間自然観察公園

問 迫間自然観察公園15ヘクタールのうち、5ヘクタールの借地の賃貸借契約を更新しないことを決めた。湿原の大半が借地であり、自然保護の点からも後退ではないか。

都市建設部長 ことし3月の賃貸借契約満了後、湿原の保全を図る観点から老朽化が著しい木道等を撤去している。同公園のあり方については、自然保護の観点も十分考慮し、東部地区開発における土地利用計画の策定と合わせて検討していく。



須田 瑞穂 議員



動画配信中

多文化共生社会の実現について問う！

問 改正出入国管理及び難民認定法がことし4月に施行され、今後新たな外国人材の受け入れが見込まれているが、本市においても国際化に対応するための組織体制を整備すべきではないか。

生活環境部長 現在、庁内の関係部署が連携を密にし、県や関係機関と協力しながら外国人の支援を行っている。今後も社会情勢に適応した組織・窓口体制のあり方を検討し、外国人も生活者の一人として豊かに暮らせる多文化共生の推進に向けた各種施策の展開を考えていきたい。

◆地元住民の反対運動

問 小俣最終処分場の賃貸借権をめぐる裁判の和解が成立したことで、民間事業者による大規模産業廃棄物最終処分場建設計画の問題も解決したと誤解している市民も多い。この状況を踏まえ、同計画に対する市の考えを確認したい。

市長 民間事業者の処分場は市外のごみを埋め立てるビジネスのための処分場である。小俣最終処分場とは全く性格が違い、本市にふさわしい施設ではないため、引き続き反対の姿勢で向き合う。